

日本の断酒会発祥61周年記念例会の様態です。

1953(昭和 28)年 9 月 12 日 日本禁酒同盟傘下に我が国初の断酒会として「断酒友の会」が発祥し、我が国の断酒会活動の歴史を紡いできました。

以来 60 年を超える歩みを続けています。長い歴史の中では同盟主導で 1958(昭和 33)年 12 月 5 日断酒新生会が発足、その後昭和 40 年代に断酒修養会と名前は変わりましたが、弛まぬ歩みを続けています。

- 日 時 9月27日(土) 午後5時～8時
- 場 所 武蔵野市西久保コミュニケーション センター
- 司会 前田 幸 東京断酒修養会
- 記念講演 真栄里 仁 理事 (久里浜医療センター医師 情報教育部長)
「近年のアルコール依存症の治療法について」



○「同盟の今後の活動について」代表理事 加藤 純二



○ 出席者は 30 名を数えました。与座武武(蔵野市議会議長)、駒野木病院、井の頭病院デイケアセンター、日本キリスト教婦人矯風会、日本健生協会、安藤記念教会、禁酒禁煙協会、断酒友

の会、三鷹断酒会をはじめとする関東地区の出席者に加え、

遠方から岡山禁酒会館、奈良若草断酒会からも出席を頂きました。このほか同盟役員、顧問、東京および仙台断酒修養会から各位が出席しました。

○ このほか、土屋正忠(衆議院議員)、邑上守正(武蔵野市長)、清原慶子(三鷹市長)、AA、全国マック協議会はじめ 30 名に及ぶ方々からお励ましのメッセージを頂きました。